

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和7年1月20日

協議会名:	那賀町地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>那賀町は、徳島県南部の山間地域に位置し、面積は694.98平方キロメートル、人口は7,031人(令和6年11月末現在)である。那賀町における公共交通機関はバスであり、民間事業者(徳島バス(株)、徳島バス南部(株))や町営の路線バスのほか、医療機関バス、スクールバスが運行し、町民の日常生活の移動手段として重要な役割を担っている。</p> <p>しかしながら、人口減少やモータリゼーションの進展等により、バスの利用者は長期的に減少が継続し、交通事業者の経営悪化やバスの運行維持に対する財政負担の増大が生じ、現状のバス運行を維持していくことが非常に厳しい状況になりつつある。</p> <p>徳島バス南部の運行する丹生谷線は、生活の場とまちの中心部や阿南市方面を結ぶ路線であり、町民の日常生活において重要な路線となっている。しかしながら、利用者の低迷が続き、事業者や町による運営努力だけでは路線の維持は難しい状況にあることから、利用者の維持・拡大等の取組とあわせて、地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)の活用により運行を維持することが必要である。</p>